

はなさいとる！

お外で遊ぼう！

ねらい：戸外での遊びを通し、様々な発見をする。

対象児：5歳児 かえで組

作成日：2023.5.22

作成者：真鍋柚稀



○振り返り○

新しい環境での生活がスタートしました。元気いっぱいのかえで組のみんなは、毎日戸外で遊ぶことを楽しんでいます。それぞれの遊びに注目すると、鬼ごっこをしたり、みんなで協力して大きなお山を作ったりと自分達のお気に入りの遊びを見つけて遊んでいました。遊びの中で、「〇〇くんはどんどんお山大きくしていったら、僕はお水ついでくる！」と役割を自分達で考えて話したり、「お山全然固まらない」「スコップでトントンしたら固まるかな」「お水流したらええんじゃない？」と考えたり、気づいたりする姿も見られました。つい、こうしたらいいよと答えを伝えてしまいそうになるのですが、こうした子ども達自身で考えて取り組んでみる姿を大事にしていかなければならないなと気づかされました。また遊びの途中には、年長児が自分達で植えたトマトの様子に気がなり、「トマトさん大きくなりよるかな、お水あげよ！」と気かけたり、「あ！黄色いお花咲いとる！もうすぐトマト出来るんかな」と発見したり考えたりする姿も見られました。水やりをしていると年下の子が「僕もしたい」と入ってくることもあり、「一緒にだったらいいよ」「優しくお水あげてね」と伝え、一緒に取り組む姿も見られました。戸外では、色々な人と関わったり、自然に触れたり気づきや発見の多い環境にあると思います。遊びの中で子ども達から出るアイデアや発見を大事にしながら遊びを広げていけるようこれからも関わっていきたく思います。（協同性、思考力の芽生え、言葉による伝え合い、自然との関わり・生命尊重、健康的な心と体）